

# のお知らせ

## ●問い合わせ●

鴻巣保健センター ☎543-1561、FAX 543-5749

吹上保健センター ☎548-6252、FAX 549-2696

※鴻巣保健センターに車でお越しの方は、市役所  
駐車場をご利用ください

## 麻しん風しん混合 (MR) ワクチンは、お済みですか？

### ■麻しんとは？

一般的に「はしか」と呼ばれるものです。発熱やせき、鼻水といった風邪のような症状と発疹が現れ、まれに肺炎、脳炎といった重い合併症を引き起こすこともあります。とても感染力が強く、マスクや手洗いで防ぐことができません。ワクチンの接種が感染を防ぐただ1つの方法です。

### ■風しんとは？

発疹や発熱、リンパ節の腫れなどの症状が出ますが、感染力は麻しんほど強くはありません。春先や初夏に流行し、集団生活に入る年代に多く見られます。発疹も熱も3日間で治るので「3日ばしか」とも呼ばれることがあります。

予防するために大切なことは…**予防接種を受けることです！**

### ■平成30年度の対象年齢・接種期間

	対象年齢	接種期間
第1期	生後12か月～24か月のお子さん	1歳～2歳の誕生日の前日
第2期	翌年度に小学校就学を迎えるお子さん (平成24年4月2日～平成25年4月1日生まれ)	平成31年3月31日まで

費用／無料 ※対象年齢以外及び接種期間を過ぎた場合は自己負担

医療機関／市内委託医療機関 ※市外の医療機関でも受けられる場合があります。詳細はお問い合わせください

予診票／お持ちの「予防接種の予診票」冊子内のものをお使いください。お持ちでない方や、麻しんワクチン又は風しんワクチンでの接種を希望のお子さんはお問い合わせください

問い合わせ／鴻巣保健センター

## 日本脳炎定期予防接種の特例

日本脳炎の定期予防接種は、平成17～21年度まで、国の通知により接種の積極的な勧奨を差し控えていました。その後新たなワクチンが開発され、現在は日本脳炎の予防接種が受けられるようになっています。無料で接種できる方は下表のとおりです。

対象	接種期限	回数
平成19年4月1日以前生まれの方	20歳になる前日まで	1期末接種分 + 2期
平成19年4月2日～平成21年10月1日生まれで9歳以上の方	13歳になる前日まで	

### 【平成30年度の積極的勧奨】

平成18年4月2日～平成19年4月1日生まれで、第2期を完了していない方へ個別通知を発送します。転入等で届かない方や、該当者で接種を希望する方は、お問い合わせください。

問い合わせ／鴻巣保健センター

## ～いつまでも自分の歯で食べるよろこびを！～ 歯科健診でお口の健康づくり

歯を失う原因の1位は歯周病です。歯周病は定期的な健診で予防することができます。年に1度の健診でいつまでも健康な歯を保ちましょう。

期間／平成31年3月31日(日)まで

ところ／実施医療機関 ※申込み時に実施医療機関一覧表を配布

対象／健診当日に市内在住で40歳以上（昭和54年4月1日以前生まれ）の方 ※治療中の方はご遠慮ください。年度中1人1回まで

内容／問診、むし歯・歯周病等の診査

費用／400円 ※受診時に医療機関の窓口でお支払いください。生活保護世帯の方は無料（要受給証）

申込み／直接又は電話で鴻巣・吹上保健センター

問い合わせ／鴻巣保健センター





# 保健センターからの

## ！蚊を介する感染症に注意

蚊は、さまざまな感染症を媒介する恐れがありますので、次のような対策を、蚊の活動が終息する10月下旬頃まで行うことが重要です。

①感染症流行地域では、蚊に刺されないようにしましょう

・海外へ渡航する際は、渡航前に現地での流行状況を把握しましょう。もし、蚊を媒介とする感染症の流行地域へ渡航する場合は、蚊に刺されないように万全な対策をしましょう。

・屋外の蚊が多くいる場所で活動する場合は、できるだけ肌を露出せず、虫よけ剤を使用するなど、蚊に刺されない対策をしましょう。

②住まいの周囲に、蚊を増やさないようにしましょう

・蚊は、植木鉢の受け皿や屋外に放置された空き缶に溜まった雨水など、小さな水たまりで発生するので、日頃から住まいの周囲の水たまりを無くすように心がけましょう。

問い合わせ／蚊媒介の感染症に関すること＝県保健医療政策課（☎048-830-3557）、蚊の防除に関すること＝県生活衛生課（☎048-830-3606）



## ！後期高齢者医療健康長寿歯科健診

埼玉県後期高齢者医療広域連合では、昨年度75歳になった被保険者を対象に、健康長寿歯科健診を実施します。疾病予防や健康増進のため、ぜひ受診してください。

対象／昭和17年4月2日～昭和18年4月1日生まれで、後期高齢者医療保険者証をお持ちの方

期間／7月1日(日)～平成31年1月31日(木)

その他／申込手続き等の詳細は、埼玉県歯科医師会、後期高齢者広域連合から6月下旬に対象者へ送付する受診案内をご覧ください

問い合わせ／埼玉県後期高齢者医療広域連合給付課（☎048-833-3130）

## ！食中毒にご用心

夏になるとカンピロバクターや腸管出血性大腸菌O-157などの菌による食中毒が増加します。食中毒にならないために、生や加熱不十分の肉を食べることを避けるなど、作る人・食べる人、みんなで予防しましょう。

### <食中毒予防の3原則>

食中毒菌を、

◎**つけない**…材料や手はもちろん、肉や魚を扱ったまな板や包丁はこまめに洗う。肉の取扱いはサラダよりも後にする

◎**増やさない**…調理したらすぐに食べる。保存する場合は急いで冷ましてから冷蔵庫へ

◎**やっつける**…食品は中心部まで十分加熱する。調理器具は熱湯や塩素等で消毒を忘れずに

問い合わせ／鴻巣保健所生活衛生・薬事担当（☎541-0249）

## 熱中症に気を付けましょう

### 熱中症とは

室温や気温が高い場合に、体温の調節機能が働かなくなり、体温上昇、めまい、身体のだるさ、ひどい時には、けいれんや意識の異常など、さまざまな症状を起こす状態の総称です。  
室内にいても、熱中症になる場合があるので注意しましょう。

### 熱中症を予防しましょう

①水分はこまめに摂り、たくさん汗をかいたら塩分を補給しましょう。

②暑さを避けましょう。（外出時は日傘や帽子を着用し、通気性が良く吸湿性・速乾性のある衣服を着用しましょう）

③室内にいる時も注意しましょう。（エアコン・扇風機を使い温度調節や、遮光カーテン・すだれ・水打ちなどを利用しましょう）

④急に暑くなった日は、特に注意しましょう。

### 熱中症が疑われる人を見かけたら

①涼しい場所へ避難させましょう。

②衣服をゆるめ、首のまわり、脇の下、足の付け根など、身体を冷やしましょう。

③水分、塩分、経口補水液などを補給しましょう。（自分で水が飲めない、意識がない場合などは、すぐに救急車を呼びましょう）

問い合わせ／鴻巣保健センター

